



平成23年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成22年10月13日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション
コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実

四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

TEL 052-611-6350

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年2月期第2四半期 | 2,311 | 22.8 | 27 | 90.0 | 20 | 91.8 | 8 | 94.5 |
| 22年2月期第2四半期 | 2,996 | | 272 | | 252 | | 147 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年2月期第2四半期 | 135.05 | |
| 22年2月期第2四半期 | 2,458.31 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年2月期第2四半期 | 6,556 | 4,643 | 70.8 | 77,563.23 |
| 22年2月期 | 7,560 | 4,480 | 59.2 | 74,851.70 |

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 4,463百万円 22年2月期 4,480百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年2月期 | | 0.00 | | 1,200.00 | 1,200.00 |
| 23年2月期 | | 0.00 | | | |
| 23年2月期(予想) | | | | 1,200.00 | 1,200.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,000 | 28.4 | 162 | 76.6 | 150 | 76.9 | 84 | 77.7 | 1,412.67 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 59,863株 22年2月期 59,863株

期末自己株式数 23年2月期2Q 株 22年2月期 株

期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 59,863株 22年2月期2Q 59,863株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ「1.当四半期の業績等に関する定性的情報」(3)業績予想に関する定性的情報を参照ください。

また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

添付資料の目次

| | 頁 |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (第2四半期累計期間) | 6 |
| (第2四半期会計期間) | 7 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、アジア向け輸出の堅調を受けて、輸出関連企業の業績に改善の兆しが見られましたが、ギリシャ問題によるユーロ圏の信用不安が足かせとなる中、米国経済にも陰りが見え始めたことにより、円高株安が急速に進行し、デフレ経済は脱却の糸口が見えず、雇用環境や・所得環境は依然として低迷が続いている等、出口の見えない厳しい経済状況が続きました。

このような経済情勢下ではありますが、環境問題に対する意識はますます高まっており、温室効果ガス削減への取り組みをはじめ、環境保全に対する企業の社会的責任がますます重視されております。そのような流れの中で「土壌汚染対策法」も平成22年4月1日に大幅改正され、土壌汚染対策に対する規制が強化されております。しかしながら土壌汚染対策市場においては、4月1日よりスタートした「改正土壌汚染対策法」に対する対応についてやや混乱した状況が続いております。中期的には改正法による規制強化の効果が浸透し、不動産市況や設備投資需要の持ち直しとともに土壌汚染対策市場も回復に向かうと思われませんが、当第2四半期会計期間においてもそのような回復兆候が見られませんでした。

そのような状況の中、積極的な受注活動を展開する一方、外注費の価格見直し等、広範囲にわたる原価低減を進めてまいりましたが、不動産市況・設備投資動向の低迷が続いたことにより案件が大幅に減少していること及び、案件減少に伴う受注競争の激化と、改正法による規制強化の効果が未だ不十分であることの影響で想定以上に受注価格が下落していること等により、業績は大変厳しい状況となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,311百万円(前年同期比22.8%減)となり、また、広範囲にわたる原価低減を図ってまいりましたが、売上高の減少による固定費比率の上昇を補うまでには至らず、経常利益は20百万円(同91.8%減)、四半期純利益は8(同94.8%減)百万円となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[土壌汚染調査・処理部門]

世界的な景気減速の中、不動産の再開発計画や、製造業の設備投資計画は、凍結又は延期等の決定を余儀なくされるケースが相次ぎ、土壌汚染市場も大きな影響を受けております。このような環境下におきまして、当社は、土壌処理体制を充実させることにより、競争力の強化を図るとともに、グループ会社間の連携の強化により、情報収集に努め、新たな需要の開拓に注力してまいりましたが、全般的な景気後退の影響を受けた結果、売上高は2,232百万円(同22.9%減)となりました。

[リサイクル部門]

廃蛍光灯の中間処理、廃乾電池、廃バッテリー等の収集運搬を行い、水銀等のリサイクルを進めております。当第2四半期会計期間は廃バッテリーの収集運搬が低調であったため、売上高は37百万円(同23.8%減)となりました。

[環境分析部門]

主に、産業廃棄物及び土壌の分析を行っております。分析業務の多くは土壌汚染調査に関するものであり、土壌汚染調査・処理部門への内部売上となるため、当部門の売上には含めておりません。当第2四半期会計期間は産業廃棄物の分析が低迷したため、売上高は23百万円(同27.5%減)となりました。

[その他]

主に賃貸マンションの経営を行っておりますが、この他にその他商品の売上が増加したことにより、当部門の売上高は18百万円(同3.1%増)となりました。

| 部門区分 | 売上高(千円) | 前年同期比(%) | 構成比(%) |
|-------------|-----------|----------|--------|
| 土壌汚染調査・処理部門 | 2,232,566 | 77.0 | 96.5 |
| リサイクル部門 | 37,143 | 76.1 | 1.6 |
| 環境分析部門 | 23,798 | 72.4 | 1.0 |
| その他 | 18,212 | 103.1 | 0.7 |

(2) 財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債及び純資産

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は1,411百万円となり、前事業年度末に比べ242百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少357百万円及び、売掛金の増加114百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は5,144百万円となり、前事業年度末に比べ5百万円の増加となりました。主な要因は、株式会社グリーンアローズ中部に対する設備の売却に伴う機械及び装置の減少109百万円、当期減価償却費150百万円、投資有価証券の取得による91百万円及び株式会社グリーンアローズ中部に対する貸付の実施に伴う長期貸付金の増加105百万円であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,389百万円となり、前事業年度末に比べ90百万円の減少となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の返済に伴う減少70百万円及び、未払法人税等の減少78百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は524百万円となり、前事業年度末に比べ77百万円の減少となりました。主な要因は、約定返済に伴う長期借入金の減少85百万円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は4,643百万円となり、前事業年度末に比べ68百万円の減少となりました。主な要因は剰余金の配当による支出71百万円であります。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保資金の充実を大前提としつつ、事業の安定的拡大に必要な投資を実行してまいりました。

その結果、現金及び現金同等物の当第2四半期累計期間末残高は226百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減価償却費155百万円等があったものの、売上債権の増加134百万円、法人税等の支払額64百万円等により総額で6百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の売却による収入80百万円があったものの、貸付による支出127百万円、投資有価証券の取得による支出88百万円等により総額で172百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の純増額50百万円があったものの、長期借入の返済による支出155百万円、配当金の支払額71百万円等により総額で176百万円の支出となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の業績予想につきましては、平成22年9月17日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日) |
|-------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 226,066 | 582,356 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,038,546 | 898,488 |
| たな卸資産 | 67,598 | 94,065 |
| その他 | 79,685 | 79,103 |
| 流動資産合計 | 1,411,896 | 1,654,013 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 1,072,665 | 1,124,492 |
| 土地 | 2,743,504 | 2,743,504 |
| その他(純額) | 720,159 | 869,192 |
| 有形固定資産合計 | 4,536,329 | 4,737,189 |
| 無形固定資産 | 14,327 | 10,012 |
| 投資その他の資産 | 594,154 | 392,280 |
| 固定資産合計 | 5,144,811 | 5,139,483 |
| 資産合計 | 6,556,707 | 6,793,496 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 379,592 | 359,718 |
| 短期借入金 | 856,328 | 876,938 |
| 未払法人税等 | 23,065 | 72,294 |
| 引当金 | 29,557 | 26,043 |
| その他 | 100,625 | 144,866 |
| 流動負債合計 | 1,389,169 | 1,479,860 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 438,186 | 523,260 |
| 引当金 | 83,916 | 76,684 |
| その他 | 2,268 | 2,268 |
| 固定負債合計 | 524,370 | 602,212 |
| 負債合計 | 1,913,539 | 2,082,073 |

(単位:千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日) |
|-----------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,446,921 | 1,446,921 |
| 資本剰余金 | 1,242,433 | 1,242,433 |
| 利益剰余金 | 1,958,317 | 2,022,068 |
| 株主資本合計 | 4,647,672 | 4,711,423 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,504 | - |
| 評価・換算差額等合計 | 4,504 | - |
| 純資産合計 | 4,643,168 | 4,711,423 |
| 負債純資産合計 | 6,556,707 | 6,793,496 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 2,996,099 | 2,311,720 |
| 売上原価 | 2,424,447 | 1,982,883 |
| 売上総利益 | 571,652 | 328,836 |
| 販売費及び一般管理費 | 299,421 | 301,778 |
| 営業利益 | 272,231 | 27,058 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 15 | 424 |
| 受取配当金 | 850 | 850 |
| 受取地代家賃 | 3,985 | 4,551 |
| 設備賃貸料 | 5,340 | - |
| 保険返戻金 | - | 1,694 |
| その他 | 259 | 849 |
| 営業外収益合計 | 10,449 | 8,369 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,374 | 5,150 |
| 固定資産賃貸費用 | 22,090 | 9,609 |
| その他 | 598 | 9 |
| 営業外費用合計 | 30,064 | 14,769 |
| 経常利益 | 252,615 | 20,657 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 332 |
| 特別損失合計 | - | 332 |
| 税引前四半期純利益 | 252,615 | 20,325 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 108,703 | 19,208 |
| 法人税等調整額 | 3,249 | 6,967 |
| 法人税等合計 | 105,453 | 12,240 |
| 四半期純利益 | 147,162 | 8,084 |

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日) | 当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,227,899 | 1,221,799 |
| 売上原価 | 997,636 | 1,051,621 |
| 売上総利益 | 230,262 | 170,178 |
| 販売費及び一般管理費 | 142,146 | 145,290 |
| 営業利益 | 88,116 | 24,888 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 278 |
| 受取配当金 | 850 | 850 |
| 受取地代家賃 | 2,184 | 2,275 |
| 設備賃貸料 | 4,005 | - |
| 保険返戻金 | - | 1,694 |
| その他 | 203 | 483 |
| 営業外収益合計 | 7,252 | 5,582 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,579 | 2,483 |
| 固定資産賃貸費用 | 22,090 | 5,089 |
| その他 | 598 | - |
| 営業外費用合計 | 26,269 | 7,573 |
| 経常利益 | 69,100 | 22,897 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 332 |
| 特別損失合計 | - | 332 |
| 税引前四半期純利益 | 69,100 | 22,564 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 27,313 | 9,121 |
| 法人税等調整額 | 2,292 | 3,029 |
| 法人税等合計 | 29,606 | 12,151 |
| 四半期純利益 | 39,493 | 10,413 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 252,615 | 20,325 |
| 減価償却費 | 155,685 | 150,275 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 5,095 | 3,514 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 7,204 | 2,478 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 4,537 | 3,472 |
| 受取利息及び受取配当金 | 865 | 1,274 |
| 支払利息 | 7,374 | 5,150 |
| 有形固定資産除却損 | - | 332 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 322,502 | 134,744 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 187,203 | 26,467 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 284,549 | 36,608 |
| その他 | 73,111 | 50,192 |
| 小計 | 209,286 | 62,412 |
| 利息及び配当金の受取額 | 865 | 1,270 |
| 利息の支払額 | 7,521 | 5,376 |
| 法人税等の支払額 | 225,779 | 64,924 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 23,148 | 6,618 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 210,046 | 28,107 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,886 | 82,179 |
| 関係会社株式の取得による支出 | 45,600 | - |
| 投資有価証券の取得による支出 | - | 88,444 |
| 貸付けによる支出 | - | 127,600 |
| 貸付金の回収による収入 | 174 | 174 |
| その他 | 5,994 | 11,041 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 258,580 | 172,840 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 75,000 | 50,000 |
| 長期借入れによる収入 | 200,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | 204,328 | 155,684 |
| 配当金の支払額 | 71,095 | 71,147 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 423 | 176,831 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 282,152 | 356,290 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 580,830 | 582,356 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 298,678 | 226,066 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。